

NPO 法人ベーシックライフインフォメーション協会報

平成24年8月15日

No. 3

残暑お見舞い申し上げます。

本協会の活動の状況をお知らせ致します。さる5月12日平成24年度の通常総会において、本年度の事業計画、予算が決定し、それぞれの事業が発足しました。その概要をお知らせ致します。

1) ドキュメンタリー映画製作事業

本会が製作している郭茂林のドキュメンタリー映画が完成し5月23日に納品されました。

題名は最終的に「 空を拓く 」 下段にサブタイトル 「 建築家・郭茂林という男 」 に決まり、25年1月劇場公開の予定で配給会社との交渉が進められています。映画製作実行委員会委員の6名は全員当協会の会員で月に3～4回の協議を行っています。

この映画は製作に2年余かかり公開はさらに半年先になりますが、一日も早く多くの方に日本の超高層建築の先駆けを果たした郭茂林氏の偉業を映像を通して知っていただきたいと思っています。その時期になりましたら改めてご案内いたしますが、皆様の鑑賞とチケットの販売のご協力をお願い致します。

1) 外国人との交流親善事業

先に台湾人中国人との親善交流会の開催を文書でお知らせし、皆様のご参加をお願いしました。第1回の交流会は、6月22日池袋の東京語文学院学生会館ホールで本会の趣旨に賛同して参加して下さったボランティア4名の方の力で見事にビーフン料理が出来上がりました。

同学院に留学し日本語を学んでいる台湾人中国人の学生を含めて約三十人の集いになりました。学習状況、体験談などの会話をするうちに打ち解けて、歌が出てカラオケも加わって雰囲気盛り上がりしました。当初予定した大学生の参加がうまく行かず規模も小さくなりましたが、今後の企画実施に参考になることが多くありました。

2) 西川満展開催事業

統日時代の台湾に日本文学を広め活動した作家の西川満の業績を紹介する展覧会の開催を日本で当会が行うことが決まりました。これを受けて「西川満展開催実行委員会」を組織し本会役員3名を基に趣旨に協賛して下さった研究者、作家などを加え、その方々の協力をいただきな

から準備を進めてきました。台北駐日経済文化代表處の後援、早稲田大学の協賛をいただき早稲田大学のギャラリーを9～10月の3週間、200席の梓ホールを2日間、無償で借用の許可をもらいました。

日本に里帰りする書籍等の所有者、台湾真理大学名誉教授の張良澤先生を国立台南文学館に訪ね、折しも開かれていた西川満学術研究発表会にも参加しました。先生との間で展示資料借用の覚書交換など協議を行い、準備を進めていました。

しかしながら、台湾の学術研究発表会の状況を見て、当初本会が張良澤先生と合意した里帰り資料や年表の展示にとどまらず、学術的にレベルの高い展示会・シンポジウムを指向したいとの研究者の意向が示されました。西川満の業績にふさわしい内容にするに反対はできません、しかしこれには研究者の協力が必要で時間がないとできません、開催日に間に合わせられるか協議しましたが相当困難との見通しになりました。一方で資金面の協力、寄付の見通しも不透明でした。委員会は手作りで金をかけない開催実施方法を作りました。規模を縮小する、展示期間中の会場の監視は会員の皆様に分担制でお願いする等々です。

開催実行委員会は展示の紹介、解説、資料の中身が出来上がらない限り開催はできないとの結論に達し、7月末開催中止を決定しました。

関係機関や台湾にも実行委員が出向き開催中止を了解していただきました。同展は今年が目玉事業であっただけにきわめて残念であります。

以上の3事業を進めるに当たり実行委員はきめられた予算に従い、国内の交通実費、打ち合わせコーヒー代、消耗品費の支払いだけに限定してボランティアで行っております。

今、本会の直面している大きな課題は郭茂林ドキュメンタリー映画「空を拓く」の観客をいかに多く集めるかです。入場者が少ないと上映が短期間で打ち切られる恐れがあります。長い期間映画館にこの映画がかかるためには観客が多くなくてはなりません。観客動員につき皆様のご協力をお願いしたいのです。

劇場、開催日時、前売り入場券料金等決まり次第お知らせ致します。より多くの方に見て頂くために皆様のご協力を切にお願い致します。 以上

注 台湾の西川満展で頒布されていた復刻版ノートを同封しました。ご活用いただければ幸いです。